

第38回東海村地域福祉計画推進会議 議 事 録

1. 日 時 平成27年12月21日（月） 午後2時～4時
2. 場 所 総合福祉センター「絆」会議室
3. 出席者
 - ・地域福祉計画推進会議委員
（富永委員長，小野寺委員，叶井委員，河野委員，井坂委員，野上委員，今橋委員，松井委員，相巢委員，須藤委員，大内委員）
 - ・アドバイザー 稲垣美加子先生（淑徳大学教授）
 - ・事務局 富田課長，芳賀補佐，酒井主幹，金田主幹，大平主事

4. 結 果（要点）

（1）前回議事録の確認について（省略）

（2）「第3次東海村地域福祉計画」（第3稿）について

- ・第2稿から第3稿への修正箇所について，代表的なもの（太枠部分）を説明した。
- ・「てにをは」の修正は，各自赤ペンを入れ，事務局に提出することになった。
- ・委員の皆さんから，計画全体に渡ってご意見をいただいた。

（3）「第3次東海村地域福祉計画」副題（案）について

- ・前回会議で出た合作案「『お互いさま』の心でつなぐ地域の輪（和）」を提示し，了解された。

（4）その他（次回会議日程等について）

- ・次回会議は1/26（火）14：00から，「絆」会議室で行う。
- ・1月に庁内手続き（政策会議）を進める。
- ・次回会議では，政策会議の結果報告のほか，今年度の事業評価の方法を説明する。

5. 結 果（詳細）

（1）開 会

（2）委員長挨拶

師走の忙しい中，出席いただき感謝申し上げます。会議では，皆で議論し，それぞれが納得したうえで合意形成することが大事で，できれば，決定事項には皆が共感して事を進めていきたい。今日は事務局から最終案が提示されたので，また意見をいただきたい。

先日11/5に「人権週間記念フェスタ」に参加してきた。これは，福祉保険課の職

員の皆さんに準備していただいたもの。子ども達の人権メッセージ、作文発表や宮本延春氏の講演があり、どちらもとても素晴らしかった。

出来るだけ早く議事進行したいと思うので、よろしく願います。

(3) 稲垣先生挨拶

「lights」が「人権」と訳されたのは明治時代で、日本は「権利」について考えるようになってから歴史が浅い。「lights」とは元々「正しい」という意味で、「正しく生きる」ということだが、人によって、また時代によって解釈が違って来る。ただ、社会福祉の根幹は「社会正義」であり、本来「アンチ権力」である。そのため、行政計画づくりに住民が参画し、行政が勝手に作らないよう、住民側の「正しさ」を反映させていくのである。

私はこれまで東海村のいくつかの会議に参加し、住民意識の高い皆さんから、色々なことを教えていただき、また「権利」について常々考えさせていただいたが、その背景には皆さんの暮らしがあり・東海村の歴史がある。皆さんが、東海村という歴史豊かな暮らしの中で、責任を持ってこのような会議に参画されていることに敬意を表したい。

この計画づくりも大詰めであるが、事務局は、皆さんの熱い想いに応えよう、住民一人ひとりを大事にしようという思いからやってくれていると思う。こうした良い地域で仕事をさせていただいていることに感謝したい。あと一息、ご協力をお願いしたい。

○配布資料、差替え資料（資料2・委員コメントページ）の確認

(4) 議 事

①前回議事録の確認について（事務局から要点の読み上げ、内容は省略）

②「第3次東海村地域福祉計画」（第3稿）について（事務局から説明）

- ・第2稿から第3稿への修正箇所について、代表的なもの（太枠部分）を説明した。
- ・「てにをは」の修正は、各自赤ペンを入れ、事務局に提出することになった。
- ・委員の皆さんから、計画全体に渡ってご意見をいただいた（P3以降参照）

③「第3次東海村地域福祉計画」副題（最終案）について（事務局から説明）

- ・前回会議で出た合作案「『お互いさま』の心でつなぐ地域の輪（和）」を提案し（計画に関するキーワードが多く入っており、また他自治体の副題とも被っていない）、了承された。

④その他（次回会議日程等について）

- 次回会議は1/26（火）14:00から、「絆」会議室で行う。
- 1月に庁内手続き（政策会議）を進める。
- 次回会議では、政策会議の結果報告のほか、今年度の事業評価の方法を説明する。

(5) 閉 会

第3次計画（第3稿）に対するご意見と対応

【ご意見・序論】

| ページ 番号 | ご意見 | 対応 |
|-----------|--|--|
| 5 | 2. なぜ「地域福祉」が必要なんだろう？ ・「人口バランスの変化」という表現が分かり難い（委員） | ・「人口構成の逆ピラミッド化」という代案をいただき、修正することになった。 修正済み |
| 8 | (7) サービスに関する情報が届かず… ・文中に「サービスへのアクセス」という言葉が出てきているが、分かり難いので別の表現にしてほしい（同じ理由で表題も変えたので）（委員） | ・事務局で表現を検討し、修正することになった。 ・ここでは、「サービスにたどり着かない」「サービスがあるかないかすら分からない」状態を指している（稲垣先生、事務局） 修正済み |
| 11 | ・ページ数が抜けている 災害時相互応援協定 ・「要援護者」とあるが「要支援者」という言葉が適切である（委員） | ・ページ数が見えるように、図を上にはずらすことにした。 ・「要支援者」に修正することになった。 修正済み |
| 14 | 4. 東海村で展開されている様々な地域福祉活動 ・「東海村が財政的に豊かで、福祉にたくさんお金をかけられた」という表現は自慢のように聞こえるので、変えてほしい（委員） | ・事務局で文章を検討し、修正することになった。 修正済み |
| 20 | 地域福祉部における「協働」の取組みのイメージ ・「現在進行中」という表現がよくない（委員） | ・「活動中」という言葉に修正することになった。 ・「空き家対策」は協働に向いているので、ぜひ取り組んでほしい（稲垣先生） 修正済み |
| 22 | イモゾーの吹き出しの中 ・本編のページ数を入れた方がいい（委員） | ・「67ページ以降」（第3部）と追記することになった。 修正済み |

第3次計画（第3稿）に対するご意見と対応

【ご意見・第1部】

| ページ 番号 | 修正前の記載内容・ご意見 | 修正後の記載内容・対応 |
|-----------|---|---|
| 29 | <p>1. 計画策定の背景と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 「核家族の多世代化」という表現が分かりづらい（委員） | <ul style="list-style-type: none"> 事務局と稲垣先生で代替案を検討することになった。 「核家族が2世代目・3世代目と繰り返されている」状態を指す（稲垣先生） 修正済み |
| 32 | <p>村社協計画との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Well Being」という概念が紹介されており、注釈もあるが、難しくて分からない。分かりやすい言葉に置き換えられないか（委員） 計画策定後、住民に説明をするときには、我々委員の価値観や知識は統一しておかなければいけない（委員長、委員） 難しい専門用語は、読者に興味を持ってもらう手法の一つだと理解している（委員） この計画は専門的過ぎて、一般住民には理解できないのではない（委員） この計画は、作っただけで終わるのではなく、ぜひ事務局と我々委員とで説明会を開いていきたい（委員長） | <ul style="list-style-type: none"> <u>読者には福祉の専門用語に触れてもらうため、文中で敢えて使い、注釈を付けて解説していくという事で統一しているので、このまま使わせてもらいたい（事務局）</u> 「Well Being」とは、「障がい・加齢・貧困などで可哀想な人のために何かしてあげる、お上が恩賜を与える」という、これまでの社会福祉のイメージからの脱却を目指して出てきたキーワードで、「誰かのため」というより、「私が幸せになっていく」、「その人にとって良い状態になっていく」、「一人ひとりに『権利』があり、自己実現できる」という意味である。 「その人らしい幸福な自己実現」「子どもの最善の利益」といった要約もあるが、それはそれで説明が必要になる。 これまでのイメージからも脱却していくための鍵となる言葉なので、少しずつ理解を広めていきたいので使用させていただきたい。 第2次計画策定時には、小中校への出前講座を考えていたが、震災対応などでできなかった。計画は若い人の地域参加の道具になるものなので、<u>概要版の作成</u>をお願いしたい（稲垣先生） この計画には、分かりやすい説明を心がけたところと、専門用語を使って難しくしている部分がある（事務局） 第2次計画から「職員が地域に出て、地域福祉計画について説明をしよう」という構想があったが、実現には至らなかったところ。第3次計画では、<u>子どもにも分かる言葉で概要版</u>を作り、また職員一人ひとりも知識をつけて大人にも子どもにも説明ができるようにしていきたい（事務局） 手作りの計画を自分たちで地域に広めていくことで、地域課題の解決につながっていくのであり、書かれている言葉にひっかかり、疑問を持つことから理解が進むのである。住民を交えてここまで議論ができる自治体はなかなかない。ぜひ概要版を作成し、出前講座ができるようにしてほしい（稲垣先生） |

第3次計画（第3稿）に対するご意見と対応

【ご意見・第1部】

| | | | |
|---------------|--|--|------|
| 34 ～ 35 | <ul style="list-style-type: none"> ・数値が全角になっている。全て半角にすることになっていたはず（委員） ・グラフ「第5次総合計画における将来推計人口」の平成32年度の高位推計と低位推計の数字と、文中の数字が合っていないので、合わせた方がいい（委員） | <ul style="list-style-type: none"> ・数値については、計画全体に渡って修正することになった。 ・文中の「38,000人」、「40,000人」を、「38,200人」、「40,500人」に修正することになった。 | 修正済み |
| 34 | <ul style="list-style-type: none"> ・「本来の将来推計人口は次ページの表のとおりです」とあるが「図」「グラフ」の方がいい（委員） ・各グラフに番号を振るだけでなく「グラフ①」などとした方がいい（委員） | <ul style="list-style-type: none"> ・「グラフ」に修正することになった。 ・「グラフ①」などと記載することになった。 | 修正済み |
| 51 | 重点施策① <ul style="list-style-type: none"> ・「地区社協」が2つ出てきている（委員） | <ul style="list-style-type: none"> ・確認のうえ、修正することになった。 | 修正済み |

【ご意見・第3部】

| ページ 番号 | 修正前の記載内容・ご意見 | 修正後の記載内容・対応 | |
|---------------|--|--|------|
| 67 ～ 77 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章量が多く、詰めて書かれており読みにくいので、段落ごとに一行空けて、読みやすくしてほしい（委員） | <ul style="list-style-type: none"> ・修正することになった。 | 修正済み |
| 68 | 施策番号 1-2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・「情報宣伝活動」の「伝」が抜けている（委員） | <ul style="list-style-type: none"> ・修正することになった。 | 修正済み |
| 69 | 2段落目 <ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動についての記載に、「地区社協とした中心とした」となっているが、民生委員やボランティア団体との連携協働についても追記してほしい（委員） | <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員は、地域のキーパーソンとして、地域福祉の推進には欠かせない存在であって、多くの職務を兼任している（稲垣先生） ・実態に即して記載内容を見直すことになった。 | 修正済み |

第3次計画（第3稿）に対するご意見と対応

【ご意見・第3部】

| ページ番号 | 修正前の記載内容・ご意見 | 修正後の記載内容・対応 |
|-------|--|---|
| 69 | 1行目 ・「地域の中に」という記載が2回あるので、どちらかにしてほしい（委員） | ・「 <u>地域の中で暮らしていくために</u> 」という部分を「そこに」に修正することになった。 修正済み |
| 75 | 「 <u>支え合いコーディネーター</u> 」について ・村社協との連携についてあまり書かれていないので、追記してほしい（委員） | ・職員と調整のうえ、修正することになった。 修正済み |
| 75 | コミュニティ・ベースド・ソーシャルワークの注釈について ・「生活課題を抱えた人たちが暮らす地域」という表現がよくない（委員） | ・「生活課題を抱えた人たちが、 <u>日頃から暮らす地域</u> 」に修正する。 修正済み |
| 75 | 2段落目 ・9行に渡って一文で書かれていて読みにくいので、どこかで区切りを入れてほしい（委員） ・「有機的に連携」という表現が分かりづらい（委員） | ・文章を区切って、分かりやすく修正することになった。 ・「有機的な連携」とは、「形式的でなく、実際に機能するように連携する」という意味である（稲垣先生） 修正済み |
| 77 | 施策番号 共通-2 ・「専門的な対応が必要な課題を抱えた者」という表現が分かりにくいので「専門的な対応を必要とする人」の方がいい（委員） | ・修正することになった。 ・国の法律や施策には「する」「させる」という命令調表現が多いので、そのまま使うのではなく、書き替えが必要。全体的に「する」「させる」という表現がないか、見直してほしい（稲垣先生） 修正済み |
| 77 | 施策番号 共通-9 ・個人情報の取扱いの研修・啓発先に「地区社協」も追加した方がいい（委員） | ・修正することになった。 修正済み |
| 全体 | 具体的な施策例の記載について ・「どの施策がどこで連携するのか」をアイコン標記してはどうか。村社協との連携施策についても調整していきたい。 ・行政内部の連携についても分かるように記載してほしい（委員） | ・これは機関連携の話になってくるので、村と社協の責任者同士で調整し、今後担当者が変わっても困らないようにしてほしい。 ・外に出る計画なので、村社協活動計画との齟齬がないようにしてほしい（稲垣先生） ・パートナーシップを評価していくのだから、連携は大事にしていってほしい（委員長） ・民児協や、ボラ連協など、団体に連携をお願いするときは、課長から事前に依頼したうえで記載するようにしてほしい（稲垣先生） |

第3次計画（第3稿）に対するご意見と対応

【ご意見・資料編】

| ページ 番号 | 修正前の記載内容・ご意見 | 修正後の記載内容・対応 |
|-----------------|--|--|
| 88 ～ 89 | 資料2-3 小学校児童数と不登校児童数の推移 資料2-5 中学校児童数と不登校児童数の推移 ・「不登校児童数」を掲載するのはあまり良くないのではないか（委員） ・中学生は、「児童」ではなく「生徒」と表記する（委員） | ・学校教育課に依頼して了解を得ている。 ・地域課題の一つとして、しっかり捉えて対策をとっていかねばならないので、データとして必要だと考えている（事務局） ・もう一度、出典先と、公開の可否を確認することになった。 修正済み |
| 81 ～ 106 | ・表やグラフの年度にバラつきがある（委員） | ・出典先に確認して、なるべく年度を揃えて掲載することになった。 ・地域福祉は、各分野のデータを集めてくるので、データにバラつきが出てしまう（稲垣先生） 修正中 |
| 81 ～ 106 | ・グラフの縦軸の基準が統一されていないので、比較しにくい（委員） ・P101の村松地区グラフの縦軸の数字が潰れている（稲垣先生） ・各グラフは付表（本表に付属する表）なので、一つひとつに付番・タイトル付けをしてほしい（稲垣先生） ・タイトルがセンター寄せになっているので、修正してほしい（稲垣先生） | ・地域差や施策間格差を見せる場合と見せない場合がある（稲垣先生） ・例えば縦軸を同じにして白方地区と村松地区を比べると、そもそもの人口規模に違いがあるので、村松地区は圧縮されたグラフになってしまうので、配慮は必要である（事務局） ・視覚効果を狙ってグラフを作る場合がある（稲垣先生） |
| 116 ～ 118 | 推進会議設置要綱・第4条 ・「委員長及び副委員長1人を置く」とあるが、委員名簿に副委員長の記載がない（委員） | ・確認のうえ、名簿を修正することになった。 修正中 |
| 121 | ・編集後記は入れないのか（委員） | （対応検討中） |

第3次計画（第3稿）に対するご意見と対応

【ご意見・その他】

| 修正前の記載内容・ご意見 | 修正後の記載内容・対応 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 第3次計画完成後は、どのあたりに配布するのか（委員） | <ul style="list-style-type: none"> この会議の関係者が所属する組織，自治会，議会等に幅広く配布する。 業者委託による印刷製本は行わない。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 概要版は作成するのか。いい計画を作るのはもちろんだが，内容を多くの住民に知ってもらうことが大事である（委員長） 計画完成後の住民説明会には，我々委員も参加するべきである（委員，委員長） 行政担当者や委員が変わっても大丈夫なように，この計画が「マニュアル」のようになればいい。民児協では，定例会の全体研修の中で勉強会を行いたい。また地区社協の中でも勉強会を行ってほしいし，そのためには委員の我々も説明のために出向きたい（委員） | <ul style="list-style-type: none"> 概要版とパワーポイント資料を作成予定である（事務局） 「計画」は住民と行政の「契約書」のような存在であり，行政の担当者が変わっても続行できるよう，細かいところまで書き込む必要がある。また，委員の皆さんは「契約の権利代行者」のような存在である（稲垣先生） <p style="text-align: right;">作成済み</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 使われている写真の画質が悪いので，解像度を上げるなどして，見栄えを良くしてほしい（委員） | <ul style="list-style-type: none"> 修正することになった。 <p style="text-align: right;">修正済み</p> |
| <p>イモゾーフAMILY</p> <ul style="list-style-type: none"> こんなにたくさんのキャラクターがいることを初めて知った。計画に掲載するのはいいことだと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> イモゾーフAMILY紹介ページを設けることになった（序論の前ページ） イモゾーの持つ杖は，介護サミットのトレードマークで，「転ばぬ先の杖」という意味がある。東海村で開催したときに，イモゾーに持たせたもの。（稲垣先生） <p style="text-align: right;">修正済み</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 注釈番号が小さくて見づらい（委員） | <ul style="list-style-type: none"> パソコンの機能の問題もあるが，なるべく見やすくなるよう修正することになった。 <p style="text-align: right;">修正済み</p> |